

令和 8 年 7 月 28 日

報道機関 各位

島根大学 シンポジウムを開催【8月7日】
「データサイエンスによるソーシャルイノベーション」～ちゃんと、つながる～

◆本件のポイント！

- ・令和 8 年度より島根大学で開講された探究型授業「データサイエンスによるソーシャルイノベーション実践演習」の成果発表会を中心に開催します。
- ・学生と企業がワンチームとなり、現場の課題に泥臭く向き合いながら構築してきた「生きた DX」のリアルなプロセスをメインに発信します。
- ・単なる PBL やイベントに留まらず、この授業が「持続的な関係性の入り口」と位置付け、地域循環を促す産官学民の新しい仕組みを提案します。

◆本件の概要

本シンポジウムは、地域におけるデータサイエンス教育と探究活動の未来を見据え、学生と企業の成果発表会を基軸に、産官学民の有識者を交えた基調講演やパネルディスカッションを展開し、島根県の未来に向けた持続可能な産官学民の連携と地域社会発展の可能性を参加者の皆さまと共に深く思考し、新たなイノベーション共創の場となることを目指します。



◆概要内容

日時:2026 年 8 月 7 日(金) 9:30-17:00

場所:島根大学 松江キャンパス 大学ホール(オンライン配信によるハイブリッド開催)

主催:島根大学

共催:一般社団法人しまね人財研究会、株式会社テクノプロジェクト、株式会社オビラボ、
AVANT 株式会社

後援:島根県、ティーエスケイ情報システム株式会社、島根県立大学、松江工業高等専門学校
山陰酸素工業株式会社

協力企業・団体:カンドーフーム株式会社、株式会社高橋産業、株式会社なかたか、
社会福祉法人豊心会、渡部印刷株式会社



人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学 数理・データサイエンス教育研究センター 里田史子

TEL:0852-32-6129

Email:mds[at]riko.shimane-u.ac.jp

◇その他

シンポジウム HP:<https://sites.google.com/pbl-shimane.com/pbl-symposium>

公式 Instagram:https://www.instagram.com/shimadai_mds/?hl=ja

毎回の授業に、学生だけでなく、社会人ファシリテーター、学生ファシリテーター、企業の社員が参加し、みなで授業を創り上げていきました。山陰中央新報で取り上げられた取り組み(<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/1019631>)は去年の同事業(プレ実施)のものです。こういった取組を島根県内に広げていこうとしています。

【添付資料: ☒あり(4 枚:シンポジウム計画書、ポスター) ☐なし 】

シンポジウム
「データサイエンスによるソーシャルイノベーション」
～ちゃんと、つながる～

企画書

島根大学数理・データサイエンス教育研究センター
副センター長/助教 瀬戸和希

1. 開催趣旨

■開催目的

本シンポジウムは、地域におけるデータサイエンス教育と探究活動の未来の未来を見据え、令和8年度より島根大学で開講された探究型授業「データサイエンスによるソーシャルイノベーション実践演習」の成果発表会を中心に、産官学民の有識者を交えたパネルディスカッションや基調講演を展開し、これらが「一過性のネットワーク」を超えて深く結びつき、実効性のある関係性を共に創り出すことを目的としています。

当日は、学生と企業がワンチームとなり、現場の課題に泥臭く向き合いながら「生きたDX」を構築してきたリアルなプロセスをメインに発信します。これを基軸に、有識者による基調講演や、今後の地域連携を議論するパネルディスカッションを重ね的に展開するとともに、次世代を担う小中高生による探究活動のポスター発表なども広く包含致します。

本シンポジウムが、島根県の未来に向けた持続可能な産官学民の連携、および地域社会の発展の可能性を参加者の皆さまと共に深く思考し、新たなイノベーションの共創の場となることを切に願っております。

■コンセプト:ちゃんと、つながる

これは、単なるネットワークの接続ではありません。

学生と企業、お互いの温度を感じる距離で正面から向き合い、それぞれの「知識」と「想い」が有機的に結びつくこと。そして、その結びつきを確かなものにするために、デジタルやデータという道具がある。

本シンポジウムが掲げる「ちゃんと、つながる」が、これまでのイベントと決定的に異なるのは、その場限りではなく、「ずっと続く関係性」を最初から念頭においているという点です。

実際、我々はPBLをゴールだとは考えていません。PBLはこれから始まる持続的な関係性の「入り口」に過ぎないのです。

大切なのは、その入口をくぐった先に生まれる「感謝と信頼の循環」が、島根県で回り始めることです。学生側は、学びを「与えられる」だけではなく、自らの知と熱意を尽くして地域の企業の力になろうと主体的に貢献する。それに対して企業側も、学生を一人のパートナーとして尊重し、組織の中に新たな活躍の舞台を共に創り出していく。

2. 開催概要

正式名称:シンポジウム「データサイエンスによるソーシャルイノベーション」～ちゃんと、つながる～

日時:2026年8月7日(金)9:30-17:00(開場9:00)

場所:島根大学大学ホール(ハイブリッド開催)

主催：島根大学

共催：しまね人財研究会、株式会社テクノプロジェクト、株式会社オビラボ、AVANT株式会社

後援：島根県、ティーエスケイ情報システム株式会社、山陰酸素工業株式会社、島根県立大学、松江工業高等専門学校

協力企業・団体：カンドーファーム株式会社、株式会社高橋産業、株式会社なかたか、社会福祉法人豊心会、渡部印刷株式会社

3. スケジュール

時間	内容	担当者
9:30-9:35	開会の挨拶	島根大学学長 大谷浩
9:35-9:40	趣旨説明	島根大学数理・データサイエンス教育研究センター長 黒岩大史
9:40-10:00	基調講演1	アイシン・ソフトウェア 齊藤行貴
10:00-10:20	基調講演2	しまね人財研究会理事 太田利昭
10:20-10:50	活動報告	島根大学数理・データサイエンス教育研究センター 瀬戸和希
10:50-11:00	休憩	
11:00-12:00	成果報告会①	渡部印刷株式会社 カンドーファーム株式会社
12:00-13:00	昼休憩	
13:00-14:00	成果報告会②	株式会社みしまや 株式会社高橋産業

14:00-14:10	休憩	
14:10-15:10	成果報告会③	社会福祉法人豊心会 株式会社なかたか
15:10-15:30	総評	黒岩大史、齊藤行貴、太 田利昭
15:30-15:40	休憩	
15:40-16:40	パネルディスカッション	モデレーター：島根県立 大学人間文化学部 高須佳 奈
16:40-17:00	結果発表・閉会の挨拶	

シンポジウムデータサイエンスによるソーシャルイノベーション — ちゃんと、つながる —

心

歓喜へ変わるアイデア

きてほしいにゃ〜

8.7 Fri 島根大学 大学ホール

9:30-17:00 ※駐車場はございません。(松江駅からシャトルバスあり)

お問い合わせ 島根大学 連携・データサイエンス教育研究センター / mda@iko.shimane-u.ac.jp
共催 しまね人財研究会、株式会社テクノプロジェクト、株式会社オゼラ、AVANT株式会社

島大 PBL



詳細・お申し込みはこちら